

光星 初戦へ最終調整

八学光星は20日、開会式に臨んだ後、大阪府東大阪市の花園セントラルスタジアムに移動、試合前の最後の練習で、2時間近くにわたって打撃と守備に汗を流し、入念に調整した。練習は本を打撃に充てた。投手陣に代わり、主戦吉川貴大が得意とするスライダーに設定。各打者はタイミングを合わせて振り抜いていた。最後はシートノックで各ポジションの動きを確認した。打撃練習で、木の柵越えを見た主砲益田敦成は「スライダーをしっかりと打てるように」と臨んだ。夜も素振りし、万全な状態で戦いたい」と意欲。主戦吉川貴大は「勝てるとが大事なので、打たせてアウトを取りたい。朝起きてからの練習の方が勝負」と闘志を燃やした。仲井泰隆監督は「打つチームをつくりたいと取り組んできた。練習ではある程度、手応えを感じつつある。選手がどういう試合をしてくれるか楽しみ」と任上からに精進した。(戸康成)



生徒や教員に見送られながら甲子園球場へと向かった応援団=20日、八戸市

スタンドから後押し 光星応援団出発

第88回選抜高校野球大会で、21日に初戦を迎える青森県代表の八学光星ナインを応援しよう、2年生を中心とした同校の応援団約140人が20日、バス5台で学校を出発し、甲子園球場へ向かった。開成(高根)戦に合わせ21日正午ごろに到着する予定。応援団はチアリーダーを含む生徒で編成し、スタンドからナインを後押しする。出発に先立ち、橋場保人校長が野球部のユニホームそっくりに色付けされた特製の八幡馬2体を生徒2人に手渡し、「応援隊の守り神を持参して優勝旗に近づけてほしい」と激励。一行を代表し、「精いっぱい応援して第2隊へバトンをつなぎます」と抱負を述べた。応援団は、窓に「ガンバレ！光星ナイン」と掲示したバスに乗り、見送りの生徒や教員に手を振りながら校舎を出発した。応援団は22日に帰着する。(玉川那津美)



初戦前の最後の練習をこなす八学光星ナイン。手前はバントを繰り返す奥村幸太=20日、東大阪市の花園セントラルスタジアム



掛け声がかすれて…

光星 13日黒海都(3年)
一塁手、大阪、今津中出

甲子園は全国でも限られた人しか行進できません。入った瞬間は人が多く真つ白になりましたが、この緊張感の中で試合をやるのは楽しみ。二塁コーチをしています。試合では走者の目になれるように冷静に判断し、チームの得点につながるように声を出したいです。(戸康成)

光星、青森山田ナイン堂々行進

熱戦開幕

第88回 選抜高校野球大会

第88回選抜高校野球大会を繰り広げる。光星は20日、兵庫西宮市の甲子園球場で開幕し、2時開始予定の第3試合(八学光星と青森山田)に臨む。青森山田は第6の青森県勢2校を含め、初の初戦。光星は20日、午前9時開始の第1試合で教員組との熱戦を繰り広げる。光星は20日、兵庫西宮市の甲子園球場で開幕し、2時開始予定の第3試合(八学光星と青森山田)に臨む。青森山田は第6の青森県勢2校を含め、初の初戦。光星は20日、午前9時開始の第1試合で教員組との熱戦を繰り広げる。光星は20日、兵庫西宮市の甲子園球場で開幕し、2時開始予定の第3試合(八学光星と青森山田)に臨む。青森山田は第6の青森県勢2校を含め、初の初戦。光星は20日、午前9時開始の第1試合で教員組との熱戦を繰り広げる。



光星は3番目、青森山田は4番目に行進し、3試合ができる実感が湧いた。持てる力を最大限に出せるように、試合に向けて調整したい」と意欲。(戸康成)